

週報

2021年度 教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

<先週の説教から>

『赦して生きる道』 石原勝代牧師

創世記 50 : 15-21 ルカによる福音書 6 : 37-42

ルカによる福音書 6 : 20 から 40 までを「平地の説教」と呼びます。平地で語るイエスさまはわたしたちの隣で「福音に生きるとはこういうことなのだよ」と教えてくれるのです。「人を裁くな」「赦しなさい」「与えなさい」と言葉が続きます。そうありたいと思います。でも、これがなかなか難しいのです。

赦しについて考えるときに、忘れることができない事件があります。2006年にアメリカで起きた銃撃事件で、娘を失った家族が、事件後すぐに加害者の家族をたずねて「赦し」を表明しました。聖書の教えに従って、自給自足の生活をするアーミッシュという共同体での出来事です。徹底的に非暴力を貫く彼らは、憎しみを超えて「赦し」を表明する生き方を選んだのです。

創世記 50 章はヨセフ物語の最後の場面です。ヨセフに対するかつての悪を悔やみ、再度赦しを求める兄たちに対して、ヨセフは「恐れることはありません。わたしが神に代わることができましようか」と言い、これは神の計画なのだと言います。人の行いがどんなに悪くても、神さまはそれを善いことへと変えていくことができるのです。人を見ているだけではわからないことでも、神のはたらきを見るなら、そこに神の恵みが見えてくるのです。

ヨセフの話は聖書の物語だから、と言ってしまえば、わたしたちは神の恵みを受け取ることができません。そこで、アーミッシュの人たちのゆるしの出来事を重ねてみます。これは現実の世界で起こったことです。銃撃事件は決してゆるされてはならない出来事ですが、ここには「赦し」があります。

信仰に生きるとは、この、赦しの道を選び取る決断ができるということ。「絶対に赦すことなどできない」と思うときに、イエスさまが「赦しなさい」と語りかける声が聞こえてくるのです。主の言葉を選ぶ生き方へ、新しい道が開かれるのです。自分だけで考えていたのでは見えない道です。でも、主が共にいて下さることがわかると、その道が見えて来て、そこに進むことができるようになる。信じて生きるとは、こうして自分の生きる道が新しく開かれていくことに違いありません。

ルカ 6:40 に「弟子は師にまさるものではない。しかし、だれでも、十分に修業を積み、その師のようになれる」とあ

ります。師はイエスさまです。そのイエスさまが、だれでも修業を積み、病人をいやし、罪人を赦し、愛を与えてきたイエスさまのようになれると言ってください。嬉しい言葉です。修業をするとは、整える、曲がっているものを修正するという意味の言葉です。つまり、主の生き方を見て、自分の生き方を整えていくのです。それは、主を呼び求めていくこと、主の御業を求めて祈ることです。

わたしたちは何が起こるか分からない中、生きていかなければなりません。悲しみがあり、苦しみがあり、心が落ち着かなくなることが在ります。人を裁いたり、赦せなくなることがあります。そのような時に、主を呼び求めるのです。修業をして、身を整えるわたしたちは、主を呼ぶ祈りをささげます。そのとき、主が共におられ、悪を善に変える神のわざがわかるようになる。

「赦して生きる道」があります。わたしの隣にはイエスさまがいて声をかけてくださる。その声を聞いて、主と共に生きる道を進みたいと思います。

【今週の集会】

●聖書研究・祈祷会 I. 6月 30日 (水) 20:00
II. 7月 1日 (木) 10:30

聖書：エゼキエル書
祈祷主題：長欠者を覚えて
担当者：(水) 相浦 (木) 佐々木
祈る人：岩佐さん 上松さん

【教勢報告】

主日礼拝	男 20	女 48	計 68
祈祷会 I.	男 6	女 3	計 9
祈祷会 II.	男 5	女 8	計 13
日曜学校	幼稚科 7	小中科 16	計 23

【次週礼拝】 7月 4日 (日)

聖書：エゼキエル書 39 : 1~8
ヨハネの黙示録 20 : 7~15
説教：「黙示録 59 - ついにサタンが敗北する」
武田 真治 牧師

讃美歌：54、32、224、504、92

【次週当番表】

司式：飯田長老 奏楽：中村 礼拝：金刺長老
献金：土門 中澤 受付：松田 森本
会堂準備：浅井 阿部 金指 齋藤
山田

看板：保坂 週報：岩佐 お花：森本
【次週集会予定】 礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・7月誕生者祝福 ・長老会 ・会堂管理委員会

2021年 6月 27日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>